

## 地域医療〈B2〉

オーガナイザー

地域医療支援センター

教授 上野 雅巳

### I 一般学習目標

医師として求められる社会的役割を担い、地域・国際社会に貢献するため、地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を習得する。

### II 個別学習目標

1. グローバル・ヘルスの枠組みとユニバーサル・ヘルス・カベレッジの保健システム、日本の社会保障制度と医療制度について概説できる。
2. プライマリヘルスケアとプライマリケアの概念について説明できる。
3. 健康増進計画や保健医療計画に関わる保健統計等データと、地域医療に関わる各種評価指標について説明できる。
4. 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域および診療科）の現状について概説できる。
5. 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）および地域医療構想について説明できる。
6. 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（地域保健、母子保健、成人・高齢者保健、精神保健、学校保健）・医療・福祉・介護の分野間および多職種間（行政を含む）の連携の必要性について説明できる。
7. 地域における、保健・医療・福祉・介護の資源と連携体制、救急医療体制、在宅医療および離島・へき地医療の体制を説明できる。
8. 地域における、災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team<DMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等）について説明できる。

### III 教育内容

1. グローバル・ヘルスの枠組みとユニバーサル・ヘルス・カベレッジの保健システム
2. 日本の社会保障制度と医療制度について
3. 保健統計について
4. 健康日本21（第二次）と都道府県健康増進計画及びその分析評価について
5. 保健医療計画および地域医療構想について
6. 和歌山県における地域医療の現状と医療計画（二次保健医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携、災害医療等）（県医務課の協力を得る）

#### IV 学習および教育方法

講義と演習（グループワーク）

#### V 評価の方法

演習の時間内に進級に係る試験（筆記）を行う。評価は、筆記試験（80%）と講義・演習に臨む姿勢（20%）の点数が、60点または平均 $-1.5SD$ に該当する点の低いほうを合格基準として可否を判定する。なお、出席が2/3に満たない場合は、不合格とする。

#### VI 推薦する図書

1. 国民衛生の動向 2016/2017 厚生労働統計協会 2016
2. 国民の福祉と介護の動向 2016/2017 厚生労働統計協会 2016
3. 保険と年金の動向 2016/2017 厚生労働統計協会 2016
4. 公衆衛生マニュアル 2016 柳川 洋, 他 編集 南山堂 2016
5. 基礎から学ぶ楽しい保健統計 中村好一 著 医学書院 2016
6. 保健統計・疫学 福富和夫, 他 著 南山堂 2014
7. はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第2版 日本疫学会 監修 南江堂 2010
8. 地域医療テキスト 自治医科大学 監修 医学書院 2009
9. 健康長寿社会を実現する（「2025年問題」と新しい公衆衛生戦略の展望） 辻 一郎 著 大修館書店 2015
10. 第17巻 医療制度・医療政策・医療経済（シリーズ生命倫理学） 今中雄一, 他 編集 丸善出版 2013
11. 医療の質の定義と評価方法 Avedis Donabedian 著, 東 尚弘 訳 特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構 2007

講義日程表

No	月 日	曜日	時限	項 目	担当
1	H29.6.26	(月)	1	保健医療計画と公衆衛生（講義）	北野
2	H29.7.3	(月)	2・3	和歌山県の二次保健医療圏・データに基づく議論・ (グループワーク)	上野・北野